カリキュラム・マップ（学習成果の構成要素と各授業科目との関係）

【別紙】

別表3

※ 学習成果 ⇒ ①＋②の要素で表現		科目名	② 当該分野以外においても普遍的に有用性を持つ能力					
			a) 自発的学習能力 自ら解析すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	b) 問題発見力・問題解決力 新しい問題を発見することや，問題を新しい方法で解決することができる。	c) コミュニケーション能力 自らの考えや疑問、また、得られた研究結果を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	d) 英語力＊ 英語の資料を読み、理解して、実践的に英語を活用することができる。	e) 論理的思考力 論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	f) 総合的問題思考力 持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。
① 分野固有の知識・理解及び技術	基礎的講義科目 生物学・生命科学全般の基礎知識および各専門分野の基礎知識を学ぶ。	生物学概説Ⅰb、Ⅱb	○		○		○	
		系統分類学概論	○				○	
		生化学概論1、2	○				○	
		生態学概論1、2	○				○	
		発生生物学概論1、2	○				○	
		遺伝学概論1、2	○				○	
	基礎的実験・演習 生物学・生命科学の基礎および基礎的実験技法をを体験的に学ぶ。	生物学実験1、2	○		○		○	
		生物学基礎実験1、2	○		○		○	
		生物学基礎演習1、2	○		○	○	○	
	専門的講義科目 細分化された多様な各専門領域を深く学ぶ。	系統分類学各論	○				○	○
		生体情報学各論	○				○	○
		多様性解析学各論	○				○	○
		ゲノム科学各論	○				○	○
		発生生物学各論	○				○	○
		細胞生物学各論	○				○	○
		遺伝学各論	○				○	○
		進化生物学各論	○				○	○
		分子生物学各論	○				○	○
		神経科学各論	○				○	○
		遺伝子科学各論	○				○	○
		生化学各論	○				○	○
		生態学各論	○				○	○
	専門的実験・演習 細分化された多様な各専門領域を体験的に学ぶ。	生物学英語演習	○		○	○	○	○
		系統分類学実験	○		○		○	○
		神経科学実験	○		○		○	○
		生理学実験	○		○		○	○
		遺伝学実験	○		○		○	○
		生化学実験	○		○		○	○
		生態学実験	○		○		○	○
		発生生物学実験	○		○		○	○
		生態学野外実習	○		○		○	○
		分子生物学実験	○		○		○	○
		細胞生物学実験	○		○		○	○
		進化生物学実験	○		○		○	○
		生物放射線実験	○		○		○	○
		生物学臨海実習	○		○		○	○
		植物系統学野外実習	○		○		○	○
		動物系統学野外実習	○		○		○	○
		生理･発生生物学臨海実習	○		○		○	○
		生物学学外体験実習	○		○		○	○
	自主研究 学生の発案により行う研究。	自主研究1、2	○	○	○	○	○	○
	特別研究 各専門分野で最先端の研究を行う4年次の卒業研究	生物学特別研究1、2	○	○	○	○	○	○

＊：生命科学コースでは、卒業に必要なすべての単位を英語で受講できる「英語課程」を用意しています。英語課程の科目の受講には、英語の資料を読み、理解して、実践的に英語を活用することが必要となります